

東播磨道2・5キロ延伸

八幡稲美―八幡三木間が開通

記念ウオーキングに千人

県が整備し、加古が祝った。

加古川 川市と小野市を結ぶ無料の自動車専用道路「東播磨道」のうち、八幡稲美ランプ（加古川市八幡町上西条）―八幡三木ランプ（同町宗佐）が21日午後、開通した。記念イベントや式典で関係者ら

東播磨道は加古川バイパスから小野市の国道175号をつなぐ全長12・1キロの計画。交通渋滞の緩和などを目的に、県が1999年に事業着手した。

南工区の加古川中央ジャンクション（同市野口町坂

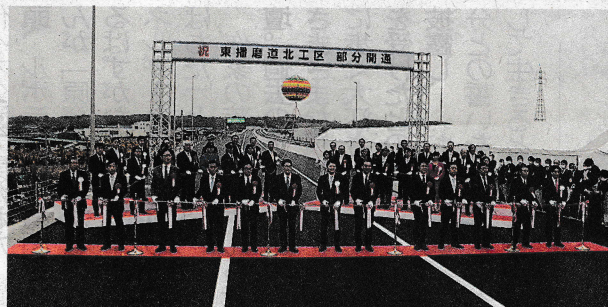


東播磨道部分開通の記念ウォーキングを楽しむ参加者ら
＝いずれも加古川市八幡町宗佐

元一八幡稻美ランプの5・2^キは、2014年までに開通している。今回はその先の2・5^キが新たに開通した。残る八幡三木ランプ・国道175号ランプの約4・4^キは、25年に完成を予定している。

開通に先立ち記念ウォーキングがあり、各地から約千人が参加。2・5^キを往復する約5^キのコースを家族連れなどが歩いた。兄弟やいとこと参加した加古川市の神野小5年の橋本心花さん(11)は「途中でおばあ

ちゃんの家が見えた。新し
話した。



テープカットで祝う関係者ら

い」とあいさつした。

会場では、周辺市町のPRブースが設置された。加古川市の踊っこグループの演舞や、三木市の別所ともえ太鼓会による演奏などもあり、にぎわった。

(兒玉芙友)

△石
招墓の山石

八幡三木ランプ付近での式典には県や加古川、三木、小野市などの自治体の代表らが出席。斎藤元彦知事は「県を南北につなぐ重要な幹線道路。東播磨と北播磨の活力につながつてほしい」と述べた。

ふあいる ニューズ

■澄んだ歌声平和願って
兵庫稲美少女合唱団の定期演奏会（神戸新聞社後援）が、稲美町国安のいなみ文化の森コスモホールであったⅡ写真。子どもたちが平和への願いを込め、澄んだ歌声を会場に響かせた。

同合唱団は1990年に発足し、稲美町を中心に4歳～大学生までの約50人が活動。毎年演奏会を開いている。



演奏会は5部構成で、わら